

## 突然の液状化現象（1995年3月号掲載・藤井 真）



1月17日午前5時46分。

私は、水上消防署の受付勤務についていた。

次の勤務者とそろそろ交替しようかと考えていたところ突然、庁舎の下からゴォーと地鳴りがし、その直後、今までに経験したことのない揺れに襲われた。

縦揺れでもなく、横揺れでもない体がねじ切られるような揺れだった。揺れがおさまるまで何もできず、ただ柱にしがみついているのがやっとだった。揺れが治まりかけたころ、再び地鳴りとともに今度は庁舎道路のあいだに亀裂が入り、泥水がすごい勢いでカーテンのように噴き出し、建物ごと飲み込んでしまうのではないかと思えるほどだ。

一瞬のうちに当たり一面泥水が川のように流れていた。

やがて泥水の噴き出しも治まり落ち着きを取り戻すことができたが、今思い出しても震えがくるぐら

い生まれて最も恐ろしい体験であり、もう二度と起こらないことを願っている。